

「みんなでまこう! 繋がり・繋がる幸せネットワークの種」プロジェクト

竹内 淳子 ●じゅんちゃん一座 座長(代表)



受賞記念の様子

要旨

じゅんちゃん一座は、認知症を悲観的に捉えるのではなく、見方を変えることで元気になってほしいという願いを込め、精神科医師による講義と、ユーモアと方言を交えた寸劇で認知症を紹介し、認知症の理解を勧めてきた。9年余りの活動で、公演回数は2021年4月現在、202回になる。一座は出前公演を行い、その活動を『多地域・広域』へ繋げ、さらに訪問した地域地域が、自主的に認知症を地域まるごとで取り組むための、地域づくり・人づくりを進められるよう支援していくことを目的とする。

一座は県外での活動も行っており、昨年度は杉浦医療振興助成により、7公演を計画していた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、5公演は中止・延期となった。ウイズコロナのみならず、アフターコロナの認知症と共生する地域づくり・人づくりに向けて、ラジオのインタビュー番組に出演したほか、より広く地域や人と繋がるために、自主ラジオ番組を制作し、放送した。さらに動画制作に取り組んだ。今後も一座は、地域に根ざした繋がり、繋がる幸せネットワークづくりを『多地域・広域』へ広げ「地域まるごと」の実現に取り組んでいく。

1. 背景と目的

市民の「寸劇を見て認知症を勉強したい」という声を受け、十和田市立中央病院精神科の医師である竹内淳子(以下「座長」と略す)が、地域の市民、保健師、介護支援専門員らに声をかけ、寸劇を用いて認知症の普及啓発を行うボランティア団体「じゅんちゃん一座」(以下「一座」と略す)を2011年12月1日に立ち上げた。一座は、精神科医による専門的な講義とユーモアとなじみのある方言を用いた寸劇を組み合わせた公演を行うことで、①子どもから高齢者まで全世代の人が認知症者を支える人になること(人づくり)、②公演を媒介として、警察、銀行、学校、地域見守り隊など多くの社会資源と顔の見える関係になることで、認知症者を支え合う地域をつくること(地域づくり)、③一座の公演を通じて得た地域づくり、人づくりのノウハウを多地域・広域へ繋げて「地域まるごと」で取り組む地域を増やすことを目的とする。

2. 活動の方法

公演は、全世代が楽しみながら認知症を学ぶことができるようにエデュテイメント(エデュケーション+エンターテイメント)の手法を用いている。さらに公演を通じて、医療介護関係者と共生社会実現を主導していくであろう一般市民との顔の見える関係づくりも行い、共生社会の実現に向けた地域づくり・人づくりも行っている。この活動を『多地域・広域』に広げることを目指し、一座が出前公演を行い、その土地の各事業者や地域の方々と公演の趣旨、公演対象、広報手段、公演後の地域での取り組みを話し合い、公演開催前

から公演後の地域に根ざした繋がり・繋がるネットワークづくりを行う。

3. 現状の成果・考察

1) 実施概要

じゅんちゃん一座主催の市民向け出前公演として、以下の2公演を実施した。

- 2020年11月10日 岩手県洋野町地域包括支援センター公演 参加者40名
- 2021年 3月26日 十和田市赤十字奉仕団研修会公演 参加者100名

2021年度は、出前公演は中部・関東地方の4つを計画し、さらに依頼公演も1つを企画していた。しかし、コロナ禍のため感染拡大防止の観点から実施できなかった。コロナ禍終息後、企画・実施予定である。

2) 実施概要

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から公演中止や公演企画見合わせ、さらに、練習等の休止等があり、この1年は従来通りの活動はできなかった。コロナ禍において「みんなでまこう!繋がり・繋がる幸せのネットワークの種」というスローガンを実現化するために、一座は何をしていくべきかを模索し、以下を実施した。

- コロナ禍における苦悩を踏まえた新作の検討
- じゅんちゃん一座Facebookページのカバー写真の刷新、給付金詐欺防止の呼びかけ
- 寸劇の動画作成・DVD配布・アンケート実施(アンケート結果は報告会にて発表予定)
- スマートフォンアプリ「radiotalk」で、「じゅんちゃん一座のつながる!ラジオ!」という番組を立ち上げ、週1回の頻度で放送。放送内容は、寸劇のラジオドラマ化や、全国で頑張っている一座のサポーターのインタビュー。

コロナ禍であるからこそできることとして、一座らしく「元気」を届けること、「顔の見える関係づくり」から「人となりの見える関係づくり」に寄与する取り組みを実施することを重視した。

4. 今後の展望

コロナ禍で活動が制限される中ではあったが、社会貢献者表彰や読売福祉文化賞の受賞、新聞掲載、ラジオ出演(2番組)、自主ラジオ番組放送、動画制作・配布や各市町村の広報誌・ホームページなどに掲載されたことで、今までは公演に足を運ぶことができなかった、全国各地の多くの方にじゅんちゃん一座の「元気」と認知症についての情報を届けることができた。

繋がりやの輪を広げるため、一座は全国制覇を目標に掲げており、現在全10道府県において公演している。(2021年3月現在)。2021年度は、青森県内への出前公演に加え、コロナ禍で公演見合わせ地域への公演や、東日本大震災や2019年台風19号で被災した福島県、千葉県での実施に取り組む予定である。

ウイズコロナ、アフターコロナにおける認知症の人たちへの適切な支援のあり方を探り、認知症と共生する社会を作り上げていくための方法を模索し、地域に根ざした繋がり、繋がる幸せネットワークづくりを『多地域・広域』へ繋げ、「地域まるごと」の実現に向けて取り組んでいく。



じゅんちゃん一座メンバーによる寸劇



感染対策を講じての公演